

## 4 バリアフリーの推進

### (1) バリアフリー教室

高齢者や障害者の疑似体験や介助体験を通じ、バリアフリーへの理解を深めるとともに、ボランティア意識を醸成し、誰もが高齢者や障害者に対して「お手伝いしましょうか」と自然に声をかけて快くサポートできる「心のバリアフリー」を推進するため「バリアフリー教室」を開催している。

令和2年度は、第5表のとおり実施した。

第5表 バリアフリー教室開催実績（令和2年度）

開催場所	開催日	参加者
姫路市立神南中学校	10月19日	1年生64名
しあわせの村	11月 1日	イベント来場者150名
姫路市立船場小学校	12月 2日	4年生81名

### (2) スパイラルアップを図る取り組み

#### 「移動等円滑化評価会議」

移動等円滑化を促進するため、平成30年5月に公布された改正バリアフリー法に基づき、関係行政機関及び障害者等、地方公共団体、施設設置管理者その他の関係者で構成する「移動等円滑化評価会議」を設置し、定期的に移動等円滑化の進展の状況を把握・評価していくこととしており、令和2年8月24日に「移動等円滑化評価会議近畿分科会」を開催した。

#### 「ユニバーサルデザイン推進本部」

東京オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとしての「真の共生社会の実現」に向け、より障害当事者目線に立ったバリアフリー・ユニバーサルデザイン施策を展開するため、令和3年3月26日に国土交通本省において関係する省内各部局が広く参画する「本省ユニバーサルデザイン推進本部」が設置され、これを受け、令和3年4月には、近畿ブロックユニバーサル推進本部が設置され、神戸運輸監理部も参画し、取り組みを推進する予定である。